

令和 8 年度事業計画書



公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

令和 8 年 3 月

目 次

I	基本方針	1
II	事業活動の内容	2
1	企画調査研究事業	2
2	建設推進活動事業	2
3	情報発信事業	3
4	交流・立地促進事業	4
5	事業化推進事業	5
6	地域産業振興事業	7
7	新産業創出会員事業	7
(参考)	第5期ステージプランのビジョン	8
(参考)	各事業の定款上の位置付け	9

I 基本方針

(1) けいはんな学研都市の概況

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）は、昭和 62 年に施行された関西文化学術研究都市建設促進法に基づく国家プロジェクトとして、豊かな文化・学術・研究の蓄積を活かした文化・学術・研究の新たな拠点づくりを目指し、建設が進められています。当機構は法施行前年の昭和 61 年に設立され、今年度には設立 40 周年という節目の年を迎えます。

また、本都市では、情報通信や環境・エネルギー、光量子科学などの分野において、様々な先進的プロジェクトが展開されてきたことに加え、企業進出や住宅整備も進んできたことから、現在、150 を超える立地施設と 25 万人を超える都市内人口を有する、文化、学術研究、産業、生活が調和した多様な機能を持つ都市として発展を続けています。

本都市は、令和 8 年度～令和 12 年度の第 7 期「科学技術・イノベーション基本計画」において記載されているとおり、企業、大学、公的研究機関などの多様な主体による連携・共創の舞台となるけいはんな地区の特色を活かしたオープンイノベーション拠点を形成し、大阪・関西万博のレガシーを継承・発展させる役割を期待されているところです。

これまで、本都市においては都市の建設や運営に係る取組の方向を定めた「新たな都市創造プラン」（平成 28 年策定）に基づき、「文化・学術研究の振興」「イノベーション推進」「都市形成・運営」等に向け各種事業を展開してきたところです。そして、令和 7 年度に同プランの目標年次を迎えたことから、学識経験者や国・地元自治体をはじめとした関係機関とともに、これまでの成果・到達点と課題を踏まえ、都市運営の体制及び学研都市の概ね次の 10 年の方向性を示す「けいはんな学研都市第 5 期ステージプラン～ポスト万博シティけいはんな～（以下「第 5 期ステージプラン」という。）」を令和 8 年 3 月に策定しました。

本都市では、この新たな「第 5 期ステージプラン」に基づき、実証都市としての強み等を発展させ、研究成果を社会実装化していくことで都市の建設を主とするステージから活用まで拡大を図るため、「社会課題の解決につながる研究成果の実装」「イノベーションを推進する交流連携と情報発信」「科学技術と結びついた新たな文化創造」「都市形成と交通アクセスの利便性向上」の 4 つの柱とそれらを包括的に推進するための基盤となる「新ビジョン推進の仕組みづくり」に向けた取組を進めてまいります。

(2) 令和 8 年度 of 取組

新たに策定した「第 5 期ステージプラン」のビジョン実現に向け、関西の成長に寄与する東西軸を中心とする他の拠点等とも連携しながら、迅速な実証・実装等を進めるとともに、「ポスト万博シティ」として大阪・関西万博及びけいはんな万博の成果を活用し、多様な主体が交流するコモンズを形成し、オープンイノベーションを生み出す取組を展開していきます。

具体的には、先端シーズ等の積極的な発信を通じ、本都市と関西の大学・研究機関との共創関係の構築および新技術や新産業の創出につなげる取組や、食に関する国内外の様々な課題解決に向けたフードイノベーション推進の取組など学研都市の目玉となる成長分野への支援について注力していきます。

また、「けいはんなスタートアップエコシステム」の一翼を担うスタートアップ支援や、自動運転やロボットの遠隔操作等の実証環境の整備を通じた実証実験支援などを進めるほか、世界トップレベルの研究開発型オープンイノベーション拠点の形成を目指し構築した「けいはんなイノベーションハブ」の本格的な運用に取り組みます。

なかでも、都市インフラの重要課題に位置づけられる都市内外の交通アクセス整備については、自動運転技術の社会実装化を目指し、けいはんなの公道走行実証実験プラットフォーム「K-PeP」を中心として企業、アカデミア、外部研究機関、関係省庁等による発展的な運用に向けた取組を進めていきます。

そして、歴史・文化遺産と先端技術が融合した伝統と未来が共存する都市としての魅力を、多様なツールを活用し、国内外に向け、わかりやすくタイムリーに情報発信する取り組みを進めていきます。

なお、当機構はこれらの取組の実施にあたって、本都市の中核機関として推進力の強化に努めてまいります。

Ⅱ 事業活動の内容

1 企画調査研究事業

本都市の文化・学術研究の振興、イノベーションの推進、都市形成に係る各種取組について、調査・研究や企画・立案を行い、都市の進捗状況等を共有し、関係機関等との合意形成を図り、様々な取組を支援します。

(1) 「第5期ステージプラン」の推進

【重点取組】

〔都市建設・産業振興・学術研究〕

◆ 取組の概要

2026年からの第5期ステージプランの関係者への周知とプラン実現に向けた取組等の具体化の検討、本都市の運営に関わる関係者等への支援等を行う取組

◆ 今年度の計画

- ・ 第5期ステージプランの広報、第5期ステージプランに沿った関係主体の具体的取組の推進及び進捗把握と目標の共有化
- ・ 第5期ステージプランの進捗管理・情報共有のための全体会議（仮称）の立上げ
- ・ インシケータマップを継続作成
- ・ 未整備クラスターの建設促進に向け、関係市町や事業者等の開催する会議体における助言や問題解決に向けた調整等の支援

(2) ポスト万博シティの実現に向けた取組の推進

【重点取組】

〔産業振興・学術研究〕

◆ 取組の概要

けいはんな万博の成果やレガシーの継承並びにポスト万博シティ実現に向け、各種団体等と連携し、けいはんな学研都市で行われる様々なイベント等取組の総合的な情報発信や、都市内、他地域との連携・交流を促進

◆ 今年度の計画

- ・ 夏休みやオータムフェアに向けて、関係機関やけいはんな万博の実施団体等との連携により、けいはんな万博を継続・継承する事業の総合的な調整や情報発信を支援
- ・ けいはんな学研都市に関心を示した他地域の企業や学校等を対象に、公共団体や（株）けいはんな、立地機関とも連携して、けいはんな学研都市の歴史・文化や学術研究を体験できる取組みの実現を促進

2 建設推進活動事業

本都市の建設理念を早期に実現するため、国等への要望や政策提言、さらには都市のPR等を通じ、オープンイノベーション拠点形成のための基盤強化やインフラ整備の実現を目指します。

(1) 本都市のさらなる発展への支援獲得

〔都市建設・産業振興・学術研究〕

◆ 取組の概要

関西文化学術研究都市建設推進協議会として、国等に対する要望活動等を通じ、都市基盤の整備やイノベーションの推進に向けた課題解決に必要な予算や支援等を獲得する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 経済団体、自治体等との連携により、ポスト万博シティ実現に向けた取組等を推進するため、以下の項目に対する国の支援等に関する要望活動
 - ① 研究開発型オープンイノベーション拠点形成のための機能強化
 - ② 交通ネットワーク等のインフラ整備促進
- ・ 要望活動の機会を活用した広報パンフレット等による本都市の様々な取組紹介等のPR活動

3 情報発信事業

本都市の知名度向上と研究成果等の社会還元を進めるため、多様なツールを活用するとともに、関係機関との連携を強化し、戦略的な都市全体の情報発信を行います。

(1) 多様なツールを活用した情報発信

【重点取組】

【都市建設・産業振興・学術研究】

◆ 取組の概要

本都市の有する最先端の技術や研究成果等の社会還元と本都市のブランド価値を高めるため、多様なツールを活用し、都市の魅力を幅広く、わかりやすくタイムリーに情報発信する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 第5期ステージプランを踏まえた本都市の取組情報の発信
- ・ 発信ツールとしての広報誌「けいはんな View」、総合パンフレットおよび SNS の活用による情報発信
- ・ けいはんな学研都市外での研究成果展示会や各種セミナー・シンポジウム（文化的なイベントも含む）等の開催・出展等にあわせた、広報ツールの活用による情報発信
- ・ 記者会見やプレスリリースを通じた、メディアに対する積極的な情報発信

(2) 都市視察を通じた情報発信

【都市建設・産業振興・学術研究】

◆ 取組の概要

本都市のPRや認知度向上を図るため、立地施設等の協力のもと、国内外の視察希望者や関係団体等に対し、都市の概要や研究開発及びけいはんな学研都市発のスタートアップの紹介等を行う取組

◆ 今年度の計画

- ・ 国内外の関係団体や各方面からの視察希望等の受入

(3) 関係機関との連携強化による情報発信

【都市建設・産業振興・学術研究】

◆ 取組の概要

本都市の情報発信力を強化するため、様々なプラットフォームを通じた立地施設間での情報・意識の共有化を図るとともに、関係自治体との連携による都市全体の広報を実施する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 「けいはんな広報ネットワーク」を通じた企画会議や記者懇談会の開催
- ・ 立地施設の広報活動を支援する研修会の開催
- ・ 広報誌「けいはんな View」への8市町（京田辺市、木津川市、精華町、枚方市、四條畷市、交野市、奈良市、生駒市）とのコラボレーション誌面の掲載

4 交流・立地促進事業

都市の賑わい創出による地域社会の発展と新たな共同研究やビジネスの創出を目指し、地域住民が本都市の魅力に触れる機会を提供する取組や研究者・企業・自治体等の相互交流を促進する取組のほか、企業・研究機関等の立地促進に向けた取組を進めます。

(1) 地域との交流を通じた都市の賑わい創出

〔産業振興・学術研究〕

◆ 取組の概要

本都市の賑わい創出とブランド力向上を図るため、研究成果の発表・展示会、市民向け公開講座、子ども向け科学イベント、音楽イベントなどの開催により、地域住民が本都市の有する最先端の科学技術、文化等に触れる機会を提供し、地域との交流を促進する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 都市内の団体等が実施するけいはんな万博のレガシー事業と連動した以下の取組を実施
 - ① 「けいはんな R&D フェア」の開催
 - ② 本都市内7大学と国会図書館との連携による「市民公開講座」の開催
 - ③ 「けいはんな科学体験フェスティバル」の開催
 - ④ 若手音楽家による「けいはんなプチコンサート」や出張コンサート等の開催

(2) 異分野・異業種交流の促進

〔産業振興・学術研究〕

◆ 取組の概要

新たな共同研究プロジェクト・新ビジネスを創出するため、本都市の大学・研究機関の研究者や企業、住民、自治体等が、最先端の研究内容・成果などについて、情報交換・共有するとともに、人的ネットワークを構築し、異分野・異業種の交流・連携を促進する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 研究者等が最先端の研究内容や成果を講演し交流を図る「けいはんなサイエンスカフェ」の開催
- ・ 若手研究者の情報共有や外部講師等を交えたワークショップ等を行う「けいはんな若手研究者交流会」の開催
- ・ 立地企業や研究機関等の研究者・従業員等を対象に、職種・業界の垣根を越えた幅広いテーマでの交流を図る「けいはんなイノベーション交流会」の開催

(3) 企業等の立地促進

〔都市建設・産業振興〕

◆ 取組の概要

企業・研究機関等の立地促進に向け、金融機関・行政との連携を図る取組

◆ 今年度の計画

- ・ 本都市の立地需要の動向把握
- ・ 立地へのインセンティブに関する検討

(4) 様々な協議会活動等への支援

【産業振興】

◆ 取組の概要

地域社会や企業の発展のため、立地施設、住民等の相互交流の促進や ICT 分野の新産業の創出を図る各種協議会等への参画、支援を行う取組

◆ 今年度の計画

- ・ 「けいはんな学研都市各立地機関協議会等情報交換会」の開催

5 事業化推進事業

本都市の有する先端的技術や研究開発の成果、さらには、競争的資金や特区制度等も活用し、持続的なイノベーションの創出による新産業の創出・集積を目指します。

(1) 研究開発型オープンイノベーション拠点の形成

【重点取組】

【産業振興】

◆ 取組の概要

関西発のイノベーション創出を目指し構築した「けいはんなイノベーションハブ」を基盤とし、フォーラムやセミナーの開催を通じた都市内外の幅広い企業・スタートアップの連携を強化する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 「研究開発型オープンイノベーション拠点」の中核を成す「けいはんなイノベーションハブ」の機能強化
 - ① 本都市の各支援機関の機能集約・窓口を一本化し情報の共有・発信と連携を強化するため「けいはんなイノベーションハブ運営会議」を運用
 - ② 「スタートアップの成長支援」機能を軸に、「けいはんな R&D コンソーシアム」の機能を拡充し「けいはんなイノベーションハブ」の運営母体「けいはんなイノベーションコンソーシアム(仮称)」として継続・発展
 - ③ 「けいはんなイノベーションハブ」Web サイトの利用促進に向けて関係機関等と連携した仕組みづくりとリニューアルを実施
 - ④ 「K-PeP」を中心とした関連企業、アカデミア、外部機関、調査機関、関係省庁、京都府による「K-PeP Next(仮称)」の運用を開始

(2) スタートアップ支援を通じたイノベーションの創出

【重点取組】

【産業振興】

◆ 取組の概要

本都市発のイノベーション創出を目指し、国内外スタートアップに対し、コーディネータのアシストチームによる育成プログラムやマッチング機会の提供等により事業成長を支援するとともに、スタートアップの有する先端シーズを地域社会・企業の課題解決につなげる取組

◆ 今年度の計画

- ・ イノベーションハブの「スタートアップ支援ユニット」である K-SAT コーディネーターが、地元中小・ベンチャー・スタートアップ企業をハンズオン支援
- ・ 国内外スタートアップの総合的な支援プログラム「KGAP+」Batch15、16 の開催支援（予選会、ピッチ会、お披露目会を含む）

(3) 多様な企業等と住民の連携によるイノベーションの創出

【産業振興】

◆ 取組の概要

市場ニーズからのバックキャストによるイノベーション創出を目指し、住民サポーター組織や企業乗合型・住民参加型プラットフォーム等を活用し、コンセプトづくりから事業化までの一元的な支援を行う取組

◆ 今年度の計画

- ・「RDMM 支援センター」が運営する以下の取組を実施
 - ① 住民サポーター組織「Club けいはんな」を活用したアンケート調査や実証実験等
 - ② 「けいはんな学研推進機構倫理審査委員会」（令和 6 年 12 月設置）の運営により、企業や研究機関等が「Club けいはんな」を介した実証実験等で得たエビデンスの堅牢性確保と利用拡大が可能な環境を整備
 - ③ 企業乗合型の公道走行実証実験プラットフォーム「K-PeP」やロボットの遠隔操作・自動運転等の通信環境・安全性を向上させる「けいはんな次世代技術基盤」設備（令和 6 年度整備）を活用した実証実験等
 - ④ 「K-PeP」を中心とした関連企業、アカデミア、外部機関、調査機関、関係省庁、京都府による「K-PeP Next（仮称）」の運用開始
 - ⑤ 会員や利用企業の拡大のため、これらの取組みの実績を様々な機会を通じてアピール
 - ⑥ 「R&D コンソーシアム」の継続・発展に伴い「RDMM 支援センター」についても機能拡充等を検討

※イノベーション関連の各プラットフォームの統合・再編後は「けいはんなイノベーションハブ運営会議」の「実証実験支援」「産学官公住連携」機能として実施

(4) 産学公の共創によるイノベーションの創出

【重点取組】

【産業振興・学術研究】

◆ 取組の概要

産学公連携によるオープンイノベーション拠点の形成を目指し、先端シーズ等の積極的な発信を通じ本都市と関西の大学・研究機関との共創関係を築くとともに、新たな技術や新産業の創出につなげる取組

◆ 今年度の計画

- ・「けいはんな学研都市『大学・研究機関』共創会議」の開催
- ・独自シーズを有する研究者の情報発信等による「けいはんな Sciencepedia」の充実

(5) 国内外の産学公連携によるフードイノベーションの推進

【重点取組】

【産業振興・学術研究】

◆ 取組の概要

食に関する国内外の様々な課題解決に向けたフードイノベーションを推進するため、プラットフォーム活動を通じ産学公の国際ネットワーク形成を図り、共同研究や共同企画等の事業を展開するとともに、「けいはんなフードテックヒル」形成に向けた機運の醸成を図る取組

◆ 今年度の計画

- ・「学研フードテック共創プラットフォーム」の「発酵」「お茶」「和食」の各テーマ別グループの共同研究・企画の推進や小グループ活動の促進
- ・プラットフォーム会員の意向を反映した新たな取組やグループ活動を促進
- ・京都府、農林水産省、ATR等との連携による交流会、セミナー等の開催や情報発信

(6) 次世代スマートシティの実現に向けた技術実証等への支援

【産業振興】

◆ 取組の概要

安心・安全で持続可能なイノベーション都市「次世代スマートシティ」実現のため、本都市ならではのリソースを活用することにより、ICT等のスマート技術やビッグデータを活用した技術実証等を支援し、その成果の実装を推進する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 自動運転技術の実装に向けた法的・行政的課題、技術的課題、ニーズに対する課題の洗い出しを実施するため、企業乗合型の公道走行実証実験プラットフォーム「K-PeP」を中心とした行政や事業者、アカデミア等で組織する「K-PeP Next(仮称)」の運用を開始

6 地域産業振興事業

(1) 立地企業へのビジネス支援

【産業振興】

◆ 取組の概要

地域産業の振興を図るため、関係機関等との連携により本都市の企業・大学・研究機関等の先端シーズ・製品のPRや商談の機会を提供し、企業の事業成長を支援する取組

◆ 今年度の計画

- ・ 本都市に所在するスタートアップ等中小企業の広報など経営を支援する事業を実施
- ・ 関係市町・商工会等と連携した、主要都市で開催される大規模な展示・商談会への出展を支援

7 新産業創出会員事業

本都市の高度な先端技術や発展が期待される技術等を新産業創出会員等へ紹介し、相互の連携を促進、広域的な会員サービス事業を展開します。

(1) 立地企業等の先端シーズの橋渡し

【産業振興】

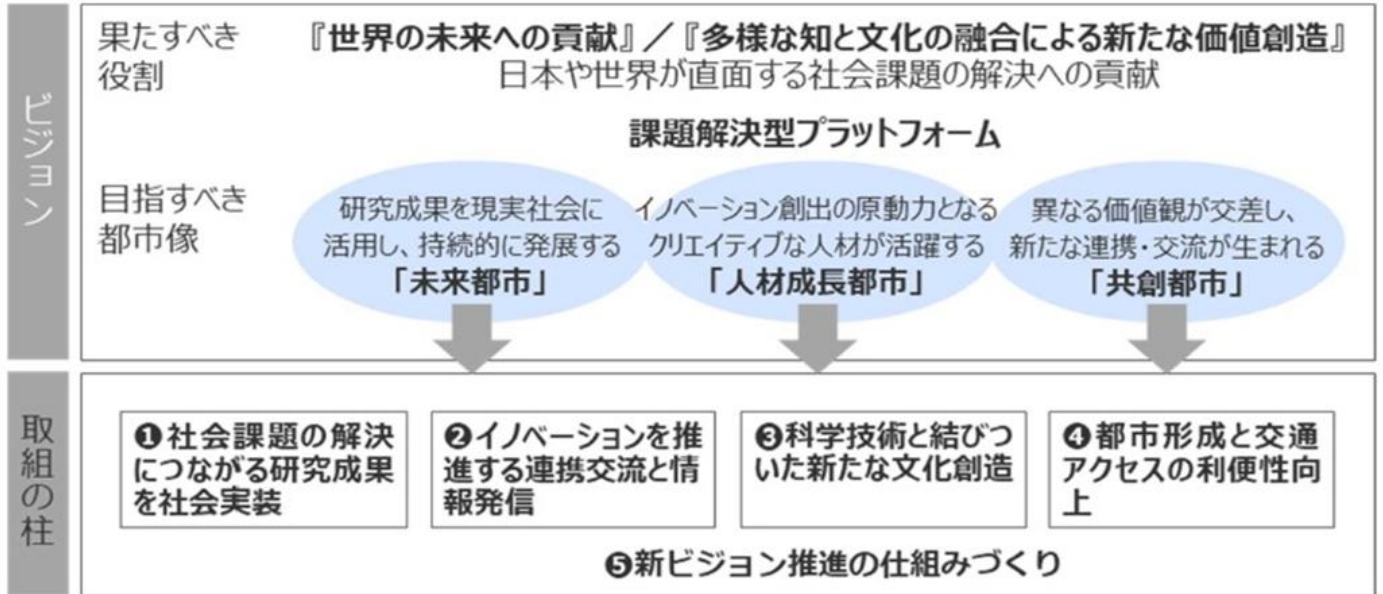
◆ 取組の概要

新事業の創出や中小企業・スタートアップ等の事業成長を目指し、本都市内の大学・企業・研究機関の研究成果等を新産業創出会員や関連団体等へ紹介するとともに、広域的な大学・研究機関・支援機関との連携強化を図る取組

◆ 今年度の計画

- ・ 本都市や関西を拠点とする中小企業・スタートアップ・大学等による研究開発の成果等、会員の事業成長に資する情報を選びすぐり「先端シーズフォーラム」にて提供
- ・ 本都市の動向や最新の取組を「けいはんな View」「けいはんな Link」にて提供

第5期ステージプランのビジョン



各事業の位置付け

事業名	重点 取組	定款上の分類			ビジョン推進に 向けた「取組の 柱」の位置づけ
		都市 建設	産業 振興	学術 研究	
1 企画調査研究事業					
「第5期ステージプラン」の推進	◎	○	○	○	125
ポスト万博シティの実現に向けた取組の開催	◎		○	○	124
2 建設推進活動事業					
本都市のさらなる発展への支援獲得		○	○	○	145
3 情報発信事業					
多様なツールを活用した情報発信	◎	○	○	○	2
都市視察を通じた情報発信		○	○	○	2
関係機関との連携強化による情報発信		○	○	○	2
4 交流・立地促進事業					
地域との交流を通じた都市の賑わい創出			○	○	24
異分野・異業種交流の促進			○	○	23
企業等の立地促進		○	○		5
様々な協議会活動等への支援			○		5
5 事業化推進事業					
研究開発型オープンイノベーション拠点の形成	◎		○		1
スタートアップ支援を通じたイノベーションの創出	◎		○		1
多様な企業等と住民の連携によるイノベーションの創出			○		12
産学公の共創によるイノベーションの創出	◎		○	○	12
国内外の産学公連携によるフードイノベーションの推進	◎		○	○	13
次世代スマートシティの実現に向けた技術実証等への支援			○		124
6 地域産業振興事業					
立地企業へのビジネス支援			○		12
7 新産業創出会員事業					
立地企業等の先端シーズの橋渡し			○		12